

令和7年7月9日

《一般国道456号の整備促進に係る》

# 要望書



【犬吠森地内の車道・歩道拡幅の整備促進（紫波東学園付近）】

国道456号整備促進期成会  
会長 岩手県奥州市長 倉成 淳



## 決 議

東日本大震災以降、道路が災害時の救援、あるいは医療施設へのアクセスとして、住民の命に直結するものであるという認識が高まり、道路の果たすべき役割として「命を守る」ということを意識したところである。

岩手県内における被災地復興のための高規格道路が全線開通したところであるが、その一方で近年の気候変動の影響により激甚化・頻発化している気象災害や大規模地震などの発生によって交通の分断が懸念される地域がまだ多く存在している。

国土強靱化に基づく自然災害に強い地域づくりのためには、高規格道路はもとより、それを補完する一般道路の整備も同時に行うことが重要である。

国道456号は、北上川東部地域の救急医療施設へのアクセスや災害時における緊急輸送、岩手・宮城両県を結ぶ地域の交流と振興に大きな役割を果たしている重要な路線である。また、岩手県から「復興支援道路」として位置づけられている国道397号をはじめとする幹線道路をつなぐ重要な路線であり、その整備は極めて重要な課題である。

については、地方の道路整備の現状並びに果たすべき役割の重要性を認識し、地域住民の生活、経済活動を支える道路の計画的整備を図るべく、次の事項について強く要望する。

- 1 公共事業関係費の大幅な増額により、平成21年度以前の7～8兆円規模に回復させ、必要かつ十分な公共事業予算の安定的・持続的な確保を図ること。特に、防災・減災対策、老朽化対策を含めた国土強靱化、生産性向上等を切れ目無く、計画的かつ強力に推進していくため、「第一次国土強靱化実施中期計画」に基づき、昨今の災害状況及び物価・人件費の高騰を踏まえ、実質的にこれまで以上の予算・財源を確保すること。
- 2 道路整備に当たっては、費用対効果に偏重することなく、災害時における緊急輸送や救急病院へ確実な搬送の確保など「命を守る道路」として、地域の実情と多面的な効果を十分考慮した上で総合的に判断の上、必要な予算を確保すること。
- 3 地域経済の活性化を図るため「重要物流道路」に指定されたネットワークを中心に、機能強化や事業による重点整備支援、並びに修繕・冬期間の交通確保対策の充実を図ること。
- 4 国道456号沿線各市町の整備要望事項における未整備区間の早期事業化及び事業化区間の整備促進を図ること。

以上、決議する。

令和7年6月30日

国道456号整備促進期成同盟会

## 国道 456 号の整備促進について

国道456号は、岩手県盛岡市を起点とし、岩手県央南部を経由して宮城県登米市に至る長大な路線であり、平成3年度に国道昇格以来、整備促進が図られておりますことに厚く御礼申し上げます。

本路線の沿線地域においては、北上中部地方拠点都市指定、北上川流域テクノポリス計画等の各種開発計画が策定され、既に自動車関連産業や半導体産業など一定の企業集積が進み、産業の基盤が確立されております。釜石港及び大船渡港など太平洋側と繋ぐ江刺田瀬インターへのアクセス増など、物流の更なる推進に資する路線として重要性が高まると同時に、沿線住民の安全安心な通行を確保するための整備も必要となっております。

平成23年の東日本大震災の際には、北上川東部地域を縦断する国道456号に内陸部と三陸地区へアクセスする救援ルートが集まり、国道4号への補完輸送路として重要な役割を果たし「命を守る道路」として、改めて強く認識したところであります。

つきましては、北上川東部地域の産業経済の発展、地域開発の推進、円滑な物流・人的交流の促進を図るとともに、安全な交通確保のため、下記の整備要望事項について特段の御高配を賜りたく要望いたします。

### 記

#### 【岩手県】

##### 〔盛岡市〕

- ・手代森<sup>てしろもり</sup>地内の両側歩道設置及び道路拡幅改良の整備計画の早期策定

##### 〔紫波町〕

- ・犬吠森<sup>いぬほえもり</sup>地内の車道及び歩道拡幅と彦部<sup>ひこべ</sup>地内の歩道設置及び歩道拡幅の整備促進

##### 〔花巻市〕

- ・東和町<sup>とうわちょう</sup>落合<sup>おちあい</sup>地内の歩道整備計画の早期策定

##### 〔北上市〕

- ・口内<sup>くちない</sup>町の新町<sup>しんまち</sup>及び荒町<sup>あらまち</sup>地内の交通安全施設（歩道）等の整備計画の早期策定

〔奥州市〕

- ・ 江刺<sup>えさし</sup>広瀬<sup>ひろせ</sup>地内の線形改良及び歩道整備計画の早期策定
- ・ 江刺<sup>えさし</sup>広瀬<sup>ひろせ</sup>川原<sup>かわはら</sup>から山影<sup>やまかげ</sup>区間の歩道整備計画の早期策定
- ・ 江刺<sup>えさし</sup>岩谷堂<sup>いわやどう</sup>地内川原崎<sup>かわらざき</sup>交差点右折レーンの延伸の早期整備
- ・ 江刺<sup>えさし</sup>岩谷堂<sup>いわやどう</sup>下苗代<sup>しもなわしろ</sup>沢<sup>さわ</sup>から田原御免<sup>たわらごめん</sup>区間の歩道整備計画の早期策定
- ・ 江刺<sup>えさし</sup>田原横懸<sup>たわらよこがけ</sup>から大平<sup>おおだいら</sup>及び同大平<sup>おおだいら</sup>から根木町<sup>ねっこまち</sup>間の線形改良及び歩道整備計画の早期策定

〔一関市〕

- ・ 猿沢<sup>さるさわ</sup>市街地（商店・家屋が連担する 250m区間）の拡幅改良及び歩道設置
- ・ 摺沢<sup>すりさわ</sup>市街地（四ツ角<sup>よつかど</sup>交差点）の右折レーンの設置
- ・ 藤沢<sup>ふじさわ</sup>バイパスの早期実現
- ・ 宮城県境付近のトンネル化の早期実現

【宮城県】

〔登米市〕

- ・ 岩手県境付近のトンネル化の早期実現



【トンネル化が望まれる岩手・宮城県境】